

## 飛びこめ！地域！プロジェクト～かすみがうら市と常陸大宮市編～

分野：ボランティア、課外活動、地域交流

代表者：人文学部社会科学科 3年 神田 紗帆

### 連携先

「かすみがうら市子ども未来フェス」実行委員会（かすみがうら市教育委員会生涯学習課）（実行委員・松庫義弘）

「西塩子の回り舞台保存会」（常陸大宮市）（会長 大貫孝夫、事務局 岡崎強）

### 顧問教員

西野由希子（人文社会科学部教授）

### 参加者

神田紗帆（人文学部社会科学科 3年）

河井孝太（人文社会科学部人間文化学科 1年）

平方瑞希（人文学部人文コミュニケーション学科 3年）

### プロジェクトの概要

●市民の方々が支え、実行されているプログラムに学生が参加し、意見交換を通して新しいアイデアを取り入れていただくとともに、学生は地域での活動の経験を積み、自分の視野を広げる。

●本プロジェクトは、地域子どもたちが関わる2つの市民団体と連携している。「西塩子の回り舞台」は平成28年度に組み立て、公演をお手伝いした学生たちが、「子ども歌舞伎」を含め、伝統文化の継承に継続して関わり、地域と学生とのつながりを強めながら、次回の組み立て・公演が予定されている平成31年度へ向けて活動を続けているも

のである。また、「かすみがうら市子ども未来フェス」との協働は2年目である。

### プロジェクトの成果報告

●「西塩子の回り舞台」保存会が、組み立てのない年にも継続されている「回り舞台の里へようこそプロジェクト」に協力し、次の組み立て・公演の年に向けて、学生がどのように関わるのがよいか、意見交換を行った。

●「関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会」第4回大会（9月22日）で「学生が地域で活動する意味～常陸大宮市「西塩子の回り舞台」などをお手伝いして～」という発表を行った。会場には、保存会の方も来て下さり、発表後の意見交換では上記交流会参加者と協議を行った。

●「かすみがうら市子ども未来フェス」は8月に開かれた実行委員会に参加し、今年度の企画に関して意見交換や提案を行った。2月16日に開催された「未来フェス」ではメインの2つの企画にメンバーがそれぞれ入り、講師の先生を中心に進められた講座をサポートした。当日、開会式で演奏のパフォーマンスを行った本学の「中南米音楽研究会」の学生とともに、講座終了後の実行委員会にも参加し、当日の振り返り、次回への申し送りなど意見交換を行った。

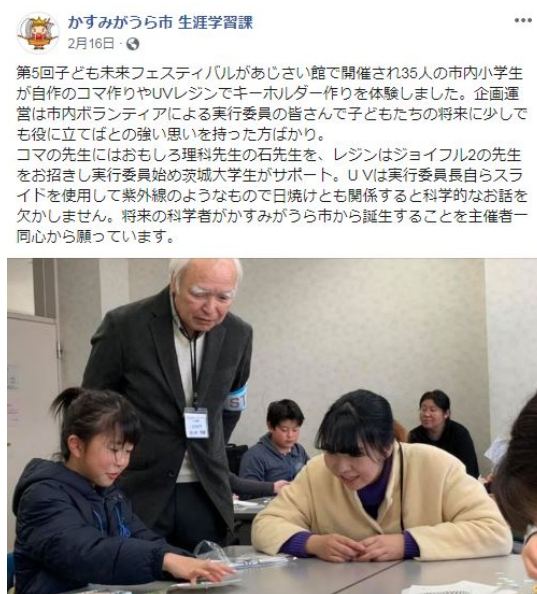
●茨城県立図書館からの依頼で6月16日に企画された「茨城大学生による英語で読み聞かせ」に協力した。茨大の学生による、英語の絵本等の読み聞かせを試験的に行っ

てみたいという相談があり、3人が参加した。

●今年度は、1年生のメンバーとともに、地域の市民の方たちによる実行委員会に参加したり、実際にイベントのお手伝いをおこなったりすることが中心となった。子供たちも関わるイベントでは、かすみがうら市の教育委員会、茨城県立図書館の方たちとも協力して企画から実施までに関わった。平成31年度は「西塩子の回り舞台」の組み立て・公演の年にあたるので、今年度のプロジェクトで経験したことを活かして次年度の活動につなげたいと考えている。



8月の実行委員会（子ども未来フェス）



「子ども未来フェス」当日の様子

県立図書館での英語で読み聞かせ



9月22日「関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会」発表の様子